

# 清流 復活へ 大和川の挑戦

10

「日本一汚い川」からの脱却

昨年11月に県が中心になつて設立した「大和川清流復活ネットワーク」。信用金庫（桜井市）だ。業に結び付き取り組みを

を上乗せする「大和川定期預金」で知られる大和をスタート。金融業の本業に結び付き取り組みと

## 浄化度で金利上乗せ

行政、NPOなどともに、企業との「協働」で大和川の浄化を図ろうとするのが新しい点。県内企業の中で積極的な活動をしているのが、水質改善の度合いによって金利

最高1%の金利を上乗せするという夏季限定のユニークな商品。予想以上の反響があり、初回は50億円の募集枠に59億円の応募があった。4回目となる今年も70億円の枠に83億円の申し込みがあった。全国的に唯一といえる取り組みだけに反響が大

## 企業との協働



9月に開かれた県の環境フェアに出展し、大和川の清流復活を訴えた大和信用金庫の活動

客さまに川の浄化を理解してもらい、喜んでもらうのは大きな成果」と話す。同金庫はこのほか、「ふるさと大和川源流体

「ふるさと大和川源流体 体験ツアー」開催や「大和川一斉清掃」への職員の参加、啓発リーフレット「私たちと大和川」製作

といつた幅広い活動を展開している。新副委員長は「9月に県の環境フェアに出展して大和川クイズを行ったが、まだまだ大和川についてよく知らない人が多い。大和川はワースト1を返上してワースト2位となったが、ワースト5を脱却できるまでは頑張りたい」と、さらなる水質改善に意欲をみせている。

県河川課は、自治会などが行う除草・清掃活動などを支援する「地域が育む川づくり事業」を実施しており、企業などの参加も募集している。 〓 毎月1回、下旬に掲

21年10月30日(金)  
奈良新聞  
朝・夕